

法人(事業所)理念	児童たちが、ご家族や他児童とのつながりの中で、「楽しくまなび、楽しく過ごす」ことを目指します。	営業時間	10時 00分から 17時 00分まで			
支援方針	児童が楽しめる居場所を作ります。児童の「強み」を見つけます。児童ひとりひとりに合わせた課題を見つけます。チームで療育を行います。他の療育・教育機関との協働を大切にします。幼児の頃から変わらないいつもの通所先として、お子さんの様子に合わせて、個別・小集団のサービスを提供します。家、学校以外の居場所として安心して過ごせる環境を作ります。	楽実施の有無	あり	なし		

ねらい		支援内容	具体的な活動や支援内容	
本人支援	健康・生活	<p>(a)健康状態の維持・改善</p> <p>(b)生活のリズムや生活習慣の形成</p> <p>(c)基本的な生活スキルの獲得</p>	<p>(a)健康状態の把握</p> <p>(b)健康の増進</p> <p>(c)リハビリテーションの実施</p> <p>(d)基本的な生活スキルの獲得</p> <p>(e)発達化等により生活環境を整える</p>	<p>未所時に体温測定を行い、健康状態を確認します。始まる会では、健康状態や気持ちの表現を質問し、言葉やイラストを選んで自分の気持ちを表現できるように援助します。</p> <p>・整理整頓をする</p> <p>・忘れ物をなくす</p> <p>・時間内に身支度を終わらせる</p> <p>・手先使った課題に取り組み</p> <p>・環境に慣れる、見通しを持って過ごす</p> <p>・自分自身のスケジュール管理</p>
	運動・感覚	<p>(a)姿勢と運動・動作の向上</p> <p>(b)姿勢と運動・動作の補助手段の活用</p> <p>(c)保有する感覚の総合的な活用</p>	<p>(a)姿勢と運動・動作の基本的技術の向上</p> <p>(b)姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用</p> <p>(c)身体の特徴や各様の姿勢・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助手段を活用してこれらができるよう支援する</p> <p>(d)保持する感覚の活用</p> <p>(e)感覚の補助及び代り手段の活用</p> <p>(f)感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応</p>	<p>体操などを通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動能力の向上を目指します。サーキットなどの異なる運動や動作を組み合わせた色や形の異なるブロックや絵本などの教材を用いて、視覚的に理解する力の向上を図ります。様々な楽器や音を使った活動、リズムに合わせて体を動かしたり、音を聞き分けたりする活動を通して、楽しい活動の中で聴くことや聴いて理解する力を促進します</p> <p>例</p> <p>・姿勢維持</p> <p>・階段を降りられるようになる</p> <p>・体、体幹を使った活動に取り組み</p>
	認知・行動	<p>(a)認知の発達と行動の習得</p> <p>(b)空間・時間、数等の概念形成の習得</p> <p>(c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</p>	<p>(a)建設や認知の活用</p> <p>(b)知覚から行動への認知過程の発達</p> <p>(c)認知や行動の手段が与える概念の発達</p> <p>(d)数値、大小、色等の習得</p> <p>(e)空間の振りへの対応</p> <p>(f)行動障害への予防及び対応</p>	<p>買い物や料理を通じてお金の使い方や計算、時間の管理などを学ぶ機会を提供します。絵本や歌、パズル、時間を計るゲームを使い、楽しみながら空間・時間、数</p> <p>例</p> <p>・話を正確に理解する</p> <p>・想像する、イメージする力を着ける</p> <p>・数値指示を覚えて行動する</p> <p>・集中力を伸ばす</p>
	言語コミュニケーション	<p>(a)言語の形成と活用</p> <p>(b)言語の受容及び発出</p> <p>(c)コミュニケーションの基礎的能力の向上</p> <p>(d)コミュニケーション手段の選択と活用</p>	<p>(a)言語の形成と活用</p> <p>(b)受容言語と発出言語の支援</p> <p>(c)人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</p> <p>(d)継続し、身振り、サイン等の活用</p> <p>(e)読み書き能力の向上のための支援</p> <p>(f)コミュニケーション機能の活用</p>	<p>お子さまの興味や発達段階に合わせて、職員が意図を理解し応答しながら、遊びややりとりを通じて人への関心を広げます。表情やジェスチャー、視線などを使ったり</p> <p>例</p> <p>・お友達に言葉で伝える</p> <p>・お友達に「入れて」「抜けるね」を伝える</p> <p>・おもちゃの貸し借りで適切に断ることができる</p> <p>・お友達の話を受容して聞く</p>
人間関係	<p>(a)他者との関わり(人間関係)の形成</p> <p>(b)自己の理解と行動の調整</p> <p>(c)仲間づくりと集団への参加</p>	<p>(a)アタッチメント(養育行動)の形成</p> <p>(b)関係行動の支援</p> <p>(c)感覚過敏から発達障がいへの支援</p> <p>(d)自己の理解とコントロールのための支援</p> <p>(e)集団への参加への支援</p>	<p>事前に視覚的な手掛かりを使って丁寧に説明し、お子さまが安心して集団活動に参加できるように支援します。少人数での体操やゲームなどの活動を通して、社会性グループでの協力やコミュニケーションを促す活動を通して、他者との関わりや協力の重要性を学び、社会的スキルを育てます。お友達との遊びの場面では、職員</p> <p>例</p> <p>・自分の感情と向き合う</p> <p>・気持ちの切り替えが出来るようになる</p> <p>・適切な声の大きさに自分で気付いて調節することができる</p> <p>・場面に応じた適切なテンションで過ごす</p> <p>・お友達との距離感に気を付ける</p> <p>・単純作業に集中して取り組む</p>	

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育や集団療育にて行った活動の内容を送迎時(お迎え時)や、写真付でサービス提供記録にてお伝えします。 ・6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別で面談の機会を設け、保護者に共有していきます。 ・個別療育の観察の機会を作り、保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学校(園)に訪問し、児童との関わり方について情報共有、支援方針を計画します。 ・事業所での様子を他事業所や相談支援に対し、訪問、電話等で伝え、日々の様子の情報交換を行います。 ・学校(保育園・幼稚園)への送迎時、先生と学校(園)での様子や事業所での過ごし方の情報共有を行います。
------	---	------	--

地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関で役割分担し、情報を共有を行います。 ・連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担に関して協議します。 ・各関係機関の情報を基に、具体的な場面で関わり方や、困りごとに関するの提案やポイントを共有します。 ・セルフプランの方には利用計画のコーディネートの中核を担う事業所の開催する会議に参加し、情報共有を行います。 	職員の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所・連絡会等で下記研修実施 ・スタッフ研修 ・専門職員によるスキルアップ研修 ・虐待防止研修 ・身体拘束適正化研修 ・感染症対策研修 <p>その他</p> <p>・児童発達ミーティングにて他教室との情報・意見交換実施</p>
-----------	---	-------	--

主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事 ・近隣施設や公園への外出活動
-------	--